

2025.02 小型船舶安全統括管理者試験 試験問題例
(試験時間 60 分)

※解答にあたっては、各選択肢に記載されている事項以外は考慮しないものとする。

問1 海上運送法の目的に関する次の記述中、A、Bに当てはまる語句の組合せとして正しいのはどれか。

海上運送法の目的は、海上運送事業の運営を適正かつ合理的なものとするにより、輸送の安全を確保し、海上運送の(A)を保護するとともに、海上運送事業の健全な発達を図り、もって(B)を増進することである。

1. A：利用者の利益 B：公共の福祉
2. A：利用者の利益 B：定時運航率
3. A：提供者の利益 B：公共の福祉
4. A：提供者の利益 B：定時運航率

問2 安全管理規程に記載しなければならない内容として、最も妥当なのはどれか。

1. 発航を中止すべき基準を超えた悪天候時に出航できるようにするための、安全確保に関する事項。
2. 危険物をはじめ、旅客の安全を害するおそれのある物品の取扱いに関する事項。
3. 船舶ごとの安全統括管理者の選任及び解任に関する事項。
4. 事業の収支改善による安全設備の強化のための取組に関する事項。

問3 安全統括管理者や運航管理者の選任に関する次の記述中、A、Bに当てはまる語句の組合せとして正しいのはどれか。

人の運送をする船舶運航事業者は、安全統括管理者(A)運航管理者を選任しなければならない。

人の運送をする船舶運航事業者は、安全統括管理者又は運航管理者を選任し、又は解任したときは、(B)その旨を国土交通省に届け出なければならない。

1. A：及び B：当該選任又は解任の日から 15 日以内に
2. A：及び B：国土交通大臣からの要請を受けた場合に
3. A：又は B：当該選任又は解任の日から 15 日以内に
4. A：又は B：国土交通大臣からの要請を受けた場合に

問4 安全統括管理者の職務に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

1. 船舶の運航に関する計画を策定すること。
2. 輸送の安全を確保するために必要となる事業収益を確保すること。
3. 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制を整備すること。
4. 安全統括管理者と運航管理者の兼務禁止について遵守すること。

問5 安全統括管理者の対応として、最も妥当なのはどれか。

1. 経営の責任者や運航管理者と協力し、安全管理規程を定めたが、ほかの従業員への周知は特に行わなかった。
2. 船舶の運航の安全管理体制の運用については、教育・訓練の企画・実施も含め、全て運航管理者に一任し、自らは特に対応をしなかった。
3. 安全運航に必要な設備の老朽化が進みつつあったので、経営の責任者に設備の入替を進言した。
4. 安全統括管理者が定年退職したので、新たに選任するまでの1年間は、適切な安全統括管理者資格者証を持たない運航管理者が代理で対応した。

問6 安全統括管理者資格者証に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

1. 安全統括管理者資格者証の有効期間は2年であるので、2年毎に安全統括管理者試験を受験し、試験に合格しないと資格者証の更新を受けることはできない。
2. 海上運送法に基づき安全統括管理者資格者証の返納を命じられた場合、その日から1年を経過しない限り、新たに安全統括管理者資格者証の交付を受けることができない。
3. 安全統括管理者資格者証の交付を受けていれば、運航管理者資格者証の交付を受ける際に、船舶の運航に関する実務の経験は免除される。
4. 人の運送をする船舶運航事業者は、事業運営上の重要な決定に参画する管理的地位にある者であって、必要な安全統括管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、安全統括管理者を選任しなければならない。

問7 安全統括管理者及び運航管理者に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、組合せとして正しいのはどれか。

- A：国土交通大臣は、安全統括管理者又は運航管理者がその職務を怠った場合であって、当該安全統括管理者又は運航管理者が引き続きその職務を行うことが輸送の安全の確保に著しく支障を及ぼすおそれがあると認めるときは、人の運送をする船舶運航事業者に対し、当該安全統括管理者又は運航管理者を解任すべきことを命ずることができる。
- B：国土交通大臣は、安全統括管理者資格者証又は運航管理者資格者証の交付を受けている者が海上運送法若しくは海上運送法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したときは、その安全統括管理者資格者証又は運航管理者資格者証の返納を命ずることができる。

1. A：○ B：○
2. A：○ B：×
3. A：×
4. A：×

問8 船舶が事故を起こした場合の通報先に関する次の記述のうち、A、Bに当てはまる語句の組合せとして正しいのはどれか。

- ・海上で事故を起こした場合：(A)
- ・湖や河川で事故を起こした場合：(B)

1. A：海上保安庁の緊急通報用電話番号「117番」
B：警察の緊急通報用電話番号「110番」
2. A：海上保安庁の緊急通報用電話番号「118番」
B：警察の緊急通報用電話番号「110番」
3. A：警察の緊急通報用電話番号「110番」
B：海上保安庁の緊急通報用電話番号「117番」
4. A：警察の緊急通報用電話番号「110番」
B：海上保安庁の緊急通報用電話番号「118番」

問9 旅客名簿に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、組合せとして正しいのはどれか。

A： 旅客名簿の備え置きは、全ての旅客船事業者に義務付けされている。

B： 旅客名簿は船内に備え置かなければならない。

- 1. A：○ B：○
- 2. A：○ B：×
- 3. A：×
- 4. A：×

問10 人の運送をする船舶運航事業者の対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、組合せとして正しいのはどれか。

A： 経営の責任者が交代になったので、安全管理規程を変更して運輸局へ届出を行った。

B： 旅客が閲覧できるように、営業所の分かりやすいところへ安全管理規程を備え置いた。

- 1. A：○ B：○
- 2. A：○ B：×
- 3. A：×
- 4. A：×

問11 水上交通の危険性に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

- 1. 水上にある船舶は、十分な準備をし、安全を確認しながら航行することで、故障や事故の発生を確実に回避することができる。
- 2. 船は水に浮くものであり沈まないため、故障や事故を起こした場合でも救助を落ち着いて待てばよく、通信手段は不要である。
- 3. 水上では、注意して見張りをしていても水面下の暗礁や障害物は見えにくいため、事前の水域調査や情報収集を実施する。
- 4. 水上で非常事態が発生した場合であっても、救援を求めたのであれば、救助の妨げになることから、自分自身で対処することは厳に慎むべきである。

問 1 2 台風に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

1. 台風は、太平洋高気圧の縁をまわり、日本付近に向かって南下することが多い。
2. 暴風雨圏内だけでなく、その周辺海域も波が高いことがある。
3. 上空の風の影響は受けないため、気圧配置から台風の進路を予測しやすい。
4. 台風から遠く離れていれば、大きなうねりが来ることはない。

問 1 3 濃霧注意報の発令など運航が中止されるおそれがある気象・海象の場合における安全統括管理者の指示に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

1. 前例を確認し、過去に運航を行ったことがある場合には、今回特有の事情を特に踏まえる必要はなく、前例に従って運航するように船長と運航管理者に指示する。
2. 運航を中止すると社長から叱責されるため、運航するように船長と運航管理者に指示する。
3. キャンセル処理で従業員の負担が増加しないように、多少無理してでも運航するように船長と運航管理者に指示する。
4. 運航中に船長と運航管理者が連絡をとる回数をいつもより増やし、情報共有を密にするとともに、適切な運航可否判断を行うよう指示する。

問 1 4 飲酒に関する次の記述のうち、最も妥当なものはどれか。

1. 乗組員は、飲酒後、正常な当直業務ができるのであれば、呼気 1 リットル中のアルコール濃度が、基準値以上であっても当直を実施してよい。
2. 乗組員は、飲酒後、正常な当直業務ができなくとも、呼気 1 リットル中のアルコール濃度が基準値以下であれば、当直を実施してよい。
3. 船長は、乗組員が飲酒等の後、呼気 1 リットル中のアルコール濃度が基準値以上である間、いかなる場合も当直を実施させてはならない。
4. 船長は、自身が飲酒していなければ、飲酒後の乗組員の呼気 1 リットル中のアルコール濃度が基準値以上であっても、当該乗組員に当直を実施させてよい。

問 1 5 船員法の規定による、旅客に対する避難の要領等に関する次の記述中、A、B に当てはまる語句の組合せとして正しいのはどれか。

船長は、避難の要領並びに (A) について、(B) するほか、旅客に対して周知の徹底を図るため必要な措置を講じなければならない。

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. A : 最寄りの海上保安機関の連絡先及び担当者 | B : 船長室内に掲示 |
| 2. A : 最寄りの海上保安機関の連絡先及び担当者 | B : 旅客の見やすい場所に掲示 |
| 3. A : 救命胴衣の格納場所及び着用方法 | B : 船長室内に掲示 |
| 4. A : 救命胴衣の格納場所及び着用方法 | B : 旅客の見やすい場所に掲示 |

問 1 6 荒天時の対応に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。

1. 発航時に運航を中止すべき波高等の条件を超えるような荒天が予想されるときは、出航を取りやめる。
2. 荒天時においては、船体が跳ねるよう波に合わせて速力調整をする。
3. バッテリーや燃料タンクなどの重量物は、荒天時でも動くことがないため、固定する必要はない。
4. 航行中に運航を中止すべき波高等の条件を超えるような荒天に遭遇した場合は、いかなる場合でも到着港への移動を優先する。

問 1 7 船舶安全法に基づく、船舶検査に関する次の記述のうち、最も妥当なのはどれか。ただし、船舶安全法の適用となる船舶であることを前提とする。

1. 船舶検査証書を受有していない船舶であっても、臨時に航行させる場合は、検査を受けずに航行させてもよい。
2. 総トン数 20 トン未満の小型船舶の検査は、一部の特殊の船舶を除いて、日本小型船舶検査機構 (JCI) が実施している。
3. 交付を受けた船舶検査証書は、紛失防止のために陸の事務所に備え置かなければならない。
4. 船舶検査証書の有効期間はすべて 5 年である。

問 18 救命胴衣（膨脹式ライフジャケット）の点検方法に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、組合せとして正しいのはどれか。

A：ライフジャケットについているガスボンベは、封板が破れていないかを目視で確認し、破れている場合は新しいガスボンベに交換する必要がある。

B：ノズルから空気を吹き込むことで、ライフジャケットの膨脹部に穴が開いていないか確認することができる。

1. A：○ B：○
2. A：○ B：×
3. A：× B：○
4. A：× B：×

問 19 次の記述のうち、安全統括管理者が、小型船舶に船長として乗船しようとする者について確認しなければならない事項として、A、B に当てはまる語句の組合せとして正しいのはどれか。

船員法の規定による (A) を修了した者であること。

船舶職員及び小型船舶操縦者法に規定する乗船基準に定める小型船舶操縦者として、当該小型船舶に乗船することができる (B) であること。

1. A：特定教育訓練 B：小型船舶操縦士
2. A：特定教育訓練 B：海技士
3. A：苦情処理訓練 B：小型船舶操縦士
4. A：苦情処理訓練 B：海技士

問 20 特定教育訓練の実施方法に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、組合せとして正しいのはどれか。

A：特定教育訓練は、被訓練者に対して座学による講義を行えば足りる。

B：過去に一度、特定教育訓練を受けていれば、5 年休職し復職した場合でも特定教育訓練は不要である。

1. A：○ B：○
2. A：○ B：×
3. A：× B：○
4. A：× B：×